

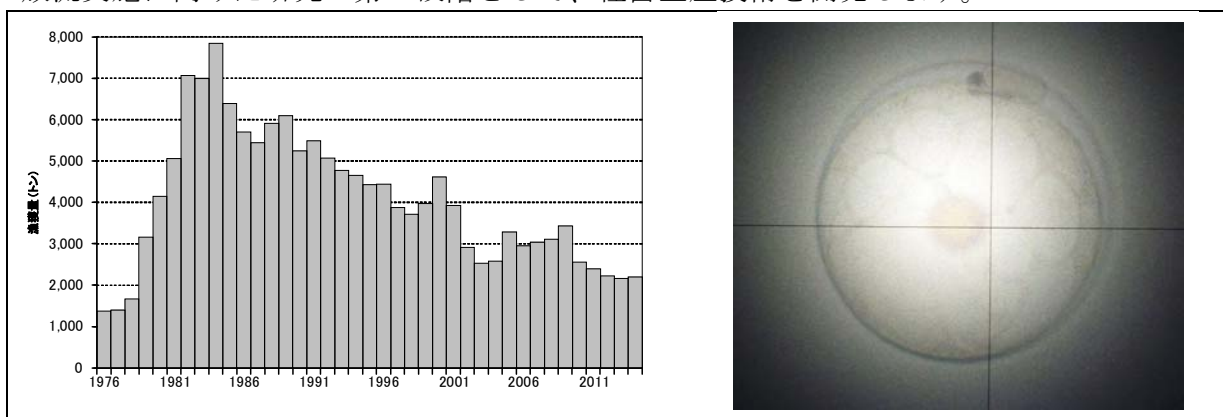
資源添加率向上技術開発研究(キンメダイ)

(予算区分 県行政 研究期間 平成28年度～)

担当：水産技術研究所伊豆分場 野田浩之・吉川康夫
深層水科 中村永介

【研究の背景とねらい】

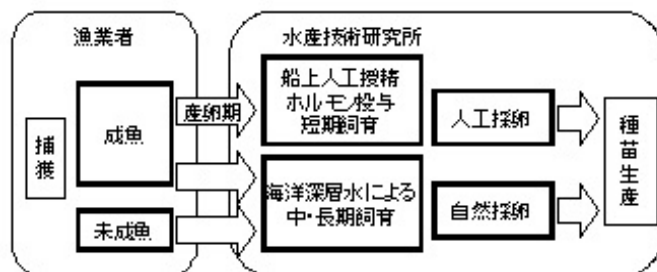
キンメダイは、年間水揚げ量がピーク時の7千トンに比べて近年は2千トン未満となっており、資源の減少が続いています。県では資源状況、経済効果、漁業者からの強い要望から、第7次栽培漁業基本計画（期間：平成27～33年度）で、キンメダイを新規で研究対象魚種に採用し、栽培漁業研究に取り組むこととしました。キンメダイは産卵期に漁獲した親魚からの人工採卵や、ホルモン処理による短期養成によって受精卵が得られた例はありますが、種苗生産には成功していません。そこでキンメダイ資源回復のための種苗放流実施に向けた研究の第1段階として、種苗生産技術を開発します。



静岡県におけるキンメダイ漁獲量の推移

キンメダイの卵

研究の進め方



研究の全体イメージ図

【期待される効果】

栽培漁業の推進によって、積極的な資源回復の取り組みが図れるようになります。また、飼育試験によってキンメダイの初期生態の解明への貢献が期待されます。

【年次計画】

細目課題	H28	H29	H30	H31～
採卵技術の開発	○	○	○	○
種苗生産基礎技術の開発	○	○	○	○
種苗の大規模飼育技術の開発				○

(作成 平成28年4月)